

災害図上 (DIG) 体験ワークショップ IN 湘南

女性委員会・防災委員会による防災コラボセミナー

協力：防災だるま 共催：湘南支部

会場：藤沢市役所本庁舎 5階市民利用会議室 2

今年初めに完成した藤沢市役所新庁舎（設計：梓設計）にて開催。屋上庭園に面した会議室は、明るく、気分良くワークショップが出来ました。

参加者 27名。3グループに分かれ、防災だるまの白田氏、中村氏のナビゲートで、地域の地図に、ステップ毎の作業をしながら、進められました。最後の発表では、一喜一憂、充実感のあるワークショップでした。

*ワークショップに参加して1

「いつまでもあると思うな、親と金、無いと思うな、運と災難」という諺がありますが、私たちは慌ただしい社会生活の中で親、金、運、災難、がつい頭から離れてしまう時があります。特に災害に関しては個々の単位から地域社会に至るまで、大地震、ゲリラ豪雨、大型台風等、常日頃から備えていなければならないと思います。11月17日のDIGワークショップは真剣さ有り、楽しさ有り、アイデア有り素晴らしきものであったと思います。次回に繋げる課題も残してくれたと思います。それは地域住民の方々の参加と、このDIGを基に実際に町歩きシミュレーションを行うことではないでしょうか。多くの地域住民の方々が住宅の安全性、各施設の安全性、道路の安全性、身近な避難所の確保、地域地盤特性の認識、危険物施設の把握等、大規模災害に備え、協同意識を持つことが大切ではないかと思えます。大規模災害に遭遇しても仮設住宅の必要性が極力少ない地域であることを願っています。

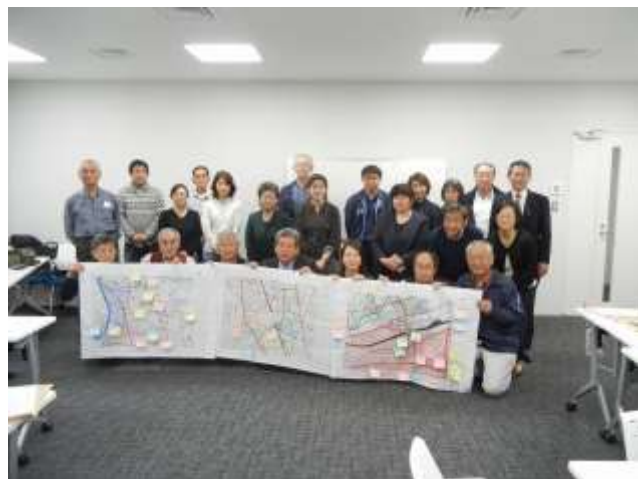
湘南支部：福田亮一



*ワークショップ中

*DIG (Disaster Imagination Game) とは？

災害図上訓練の一手法DIGは、自分たちの生活する場所の地図を広げ、地形や道路、ガソリンスタンドや役所、学校など都市施設など地図にマーキングし地域の防災力をゲーム形式で読み解きます。その過程で地図にある情報からどういうことが、想定されるのか、お互いに考えを述べ合って、災害時についてイメージを共有します。



*ワークショップDIG完成地図・集合写真

*ワークショップに参加して2

以前、市主催のHUGに参加し、避難所運営の難しさを体験しました。今回は私の居住地を題材としたDIGに参加し、地図と現地の違いを確認する良い機会を頂きました。HUGもDIGも自身の係わる地域の住民同士で体験し、情報を共有する事が大切だと思います。

地図と用意した資料を基に市外の参加者と市内の参加者が加わり色分けをしましたが、地図で判断できない部分が多くあります。茅ヶ崎を題材にしましたが、是非自分の住む地域で検証して下さい。

私の住む地区では、現地を歩き危険箇所を、僅かですが改善した所もあります。

HUGもDIGも検証して**気付く**事が大切です。会員はもちろん建築士以外の誰もが気付き、各自の防災意識を高めていくことが重要です。

防災・耐震への提案も、所有者と行政の意識や経済力等、障害もあり、思うように進まない現実です。

防災マップに頼らず、避難所に行くより自宅での持久力を養い、自己の緊急判断力を磨き、各自が備える事が重要だと改めて感じました。「そなえよつねに」

湘南支部：春日 勇